

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		大和体育館管理運営事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020402000082	
総合計画の施策名		0204	生涯スポーツ活動の振興			単独/補助	単独	所属課	090501	
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名		
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興					グループ	スポーツ振興G	
	手段名	02	②快適な施設利用の推進					担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	06	02	08	00	単年度繰返し (昭和58 年度～)			
法令根拠	桜川市体育施設設置及び管理に関する条例						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>所在 桜川市羽田1028-1</p> <p>延床面積 1,672㎡ (体育館・卓球場)</p> <p>バレーボール・バスケットボール・バトミントン・卓球等</p> <p>平成28年11月より、大和中学校体育館が老朽化のため使用禁止となり、大和中学校が優先的に利用することとなった。</p> <p>管理については、学校教育課が主管となり、施設利用開放については、スポーツ振興課がになっている。</p> <p>利用時間は、中学校が利用しない時間 (夜間等) となっている。</p> <p>体育館の利用にあたっては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で使用することが出来る。</p> <p>また、令和6年12月より、人件費削減として電子鍵 (リモートロック) を導入した。</p>	<p>市職員業務：施設の維持管理、委託契約の締結、使用申請の受付、使用許可書の発行、使用日程の調整、使用料の徴収</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
使用申請の受付、使用許可書の発行、使用日程の調整、使用料の徴収	使用可能日数	日	308.00	308.00	308.00	308.00	308.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市民	桜川市人口(常住人口)	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民が大和体育館を使用してスポーツを楽しむことができる。	利用者数	人	4,532.00	3,181.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
		国庫支出金	千円	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	88	91	88		
		その他	千円	72	72	72		
		一般財源	千円	2,040	76	87		
		事業費計 (A)	千円	2,200	239	247		
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
	07 報償費	130			10 需用費	120		
	10 需用費	100			12 委託料	100		
	13 使用料及び賃借料	9			13 使用料及び賃借料	27		
	合計		239		合計		247	

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理業務 ○使用申請書の受付、許可書の発行 ○利用団体間の調整 ○リモートロックシステムの入力 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理業務 ○使用申請書の受付、許可書の発行 ○利用団体間の調整 ○リモートロックシステムの入力 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の維持管理業務 ○使用申請書の受付、許可書の発行 ○利用団体間の調整 ○リモートロックシステムの入力

事務事業名	大和体育館管理運営事業	事務事業No.	20402000082	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 旧大和村で昭和58年9月に大和体育館を建設したことに伴い、施設の管理運営が開始された。平成28年11月より、大和中学校体育館が老朽化のため利用禁止となり、大和中学校が優先利用となる。管理は学校教育課に移管された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 雨漏りの修繕とトイレの改修（におい）					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民がスポーツを楽しむことで、「生涯スポーツ活動の推進」「市民がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活ができる」に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民が施設を利用できることは、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながる。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 大和中学校が優先的に利用することになり、一般開放は夜間のみとなり利用者の増加は見込めない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 学校教育・生涯スポーツ活動に影響を与える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 学校教育・生涯スポーツ活動に影響を与えるので余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 夜間開放に係る利用申請受付・利用調整に係る業務への人件費の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 一般開放しており、使用料を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 老朽化がすすみ、修繕箇所が増加している。																		
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下			コスト															
		削減	維持	増加															
			○	×															
		×	×	×															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																			
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------